

もじやもじやパーマで口ひげを蓄え、おとぎの国から来た様な可愛い風貌の河野清先生、いつもにこにこ顔で患者さんと接していた河野先生：昨年、つまり平成28年9月17日に当院で亡くなられました。多くの患者さんから慕われていた先生でした。

茅ヶ崎市立病院を退官後、湘南長寿園病院の整形外科医として約16年、外来・入院患者さんの診療、地域医療に貢献されてきました。いつも笑顔で誰からも好かれていた先生でした。先生の趣味は幅広く、ギター、愛車フェアレディZでのドライブ、謡(うたい)、絵画…等、多彩な才能をお持ちでした。



先生との出会いは、私が当院に勤務を始めた平成25年よりもっと前のことでした。

茅ヶ崎市に住む40年来の友人H氏と同じ茅ヶ崎市にお住まいであった先生は、謡(喜多流)大村定先生の門下生であり、H氏と毎週稽古に励んでいた仲でした。謡の発表会が目黒能楽堂で開かれ、その後の懇親パーティーで私は先生とお会いしました。

絵画にも素晴らしい才能をお持ちで、H氏の奥様の故郷山形県鶴岡市に伝わる「伝承500年黒川能」に興味を持たれ、ご自分の絵のテーマとして20年にわたって描き続けられました。

現代かながわの会員で、毎年50〜60号の大作を出品されてきました。毎年2月1日〜2日にかけて行われる神事王祇祭黒川能鑑賞を楽しみに、20年にわたり黒川の里へ通われ続けています。



河野清先生の作品

黒川の人々との友好を深め、鶴岡市櫛引の農協主催での骨粗鬆症の講演もなさっております。

神事王祇祭黒川能には私も興味を持っており、何度か見に行っております。先生とは、黒川能という共通の話題で話し合った事もありました。



河野先生奥様の作品

患者さんに伝え、大変喜ばれたそうです。患者さんを思いやる優しい先生のエピソードの一つでもあります。

河野先生の奥様も絵が大変お上手であり、ご夫妻からの絵画60号の大作2点が当院へ寄贈されています。

湘南長寿園病院は、益井三重子さんの絵画をはじめ多くの絵画が展示されており、患者さんに優しい空間を提供している病院です。

河野先生ご夫妻の絵画が患者さん、職員の皆さんに安らぎを与えてくれる日を楽しみに待っています。

多くの患者さんから親しまれた河野清先生

心よりご冥福をお祈りいたします。

何と読むのでしょうか？



1. 鰻 2. 鱈 3. 鮭 4. 鱧 5. 鱗 6. 鱈 7. 鮒 8. 鰯 9. 鰻 10. 鰯



正解は今号のどこかにあります